

札幌学院大学

学外実習における情報保障 ～ 考古学実習 in 置戸(おけと) ～

● 実習概要

- ・ 実施期間：2016年8月9日～8月16日
- ・ 実習内容：発掘調査
- ・ 聴覚障害学生1名
- ・ テイカー：3名
- ・ 屋外発掘調査：ノートテイク
- ・ 屋内のミーティング：パソコンテイク
- ・ 移動：2日、実習：6日



札幌学院大学
(江別市)

車で約4時間
(高速道路使用)

285 km



パソコンテイクの様子
(成果報告ミーティング)

発掘調査現場
(置戸町)



屋外で使用した道具
ノートテイク・筆談に使用



ノートテイクの様子
(遺物包含層観察)

● 得られた成果

- ・ 実習担当者との事前打ち合わせによる事前準備の実施要領の理解
- ・ 学外実習におけるテイク手法の蓄積
- ・ 情報保障に対する理解が不十分な環境における対応方法の蓄積
- ・ テイク講習の充実(学外での情報保障対応)

● 今回の実習における問題点

- ・ テイカーの専門知識 → 学外実習固有の専門用語の理解
- ・ 交代要員の必要性 → 通常と異なる環境での疲労蓄積
- ・ 屋外でのテイク環境の事前調査の必要性 → 自然環境・テイク環境の違い